

アジア政経学会 2009年度第6回理事会 議事録

1. 日時 2009年12月5日(土) 15:00~17:20
2. 会場 東京大学(本郷キャンパス) 東洋文化研究所 3階第一会議室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 17名(家近・大橋・加藤・金子・木曾・佐藤・澤田・園田・高橋・高原・竹中・谷垣・唐・田村・唐・松田・丸川)
5. 委任状提出者 6名(浅野・巖・高・玉田・山本・脇村)
6. 出席者合計 23名
7. 議長 高原理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、高原理事長が議長席に着き開会。開会に先立ち、金子副理事長から、前日に高原理事長のご尊父がお亡くなりになり、理事会の開催が危ぶまれたにもかかわらず出席された高原理事長に弔意を申し上げたいとの発言があった。

総務担当・園田理事より本日の出席者は23名(委任状提出者6名を含む)で、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、園田茂人氏、松田康博氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2009年10月10日)理事会議事録の確認を行った。

議案1 今後の学会方針と業務担当

高原理事長から、学会の会員規模からすればもっと大会への出席数が多くてよいこと、大会への出席数を増やすためには会員の満足度を高めるための工夫をする必要があること、特に若い人へのサービス提供を念頭に置いて、理事としての仕事に邁進してほしいとの意見が開示された。また業務担当については、各担当者から以下の議案を報告することで代替したい旨、報告があった。

議案2 研究担当の新体制案および年度計画案

竹中理事(東日本研究担当)より、研究企画委員会を設置し、東日本大会(北大・岩下氏)、西日本大会(京大・藤田氏)、全国大会(東大駒場・谷垣氏)の大会実行委員長と連携をとりながら、報告内容に地域やテーマの偏りのないよう、研究プログラムを組みたいとの指針が示され、承認された。また、メールベースでの情報交換を行い、詳細な年度計画案を次回の理事会に提出する旨の説明が行われた。理事以外の会員による司会担当の可能性、自由論題報告のレベルの低下、学

会外の組織・ネットワークとの共催の可能性、月例研究会復活の可能性、西日本と東日本の地域区分の意味合い、研究企画委員会として報告プログラムを策定することの可否をめぐって意見交換がなされた。

議案3 編集担当の新体制案および年度計画案

高橋理事（前編集担当）より『アジア研究』第55巻第4号の編集状況について報告があった。査読委員のミスから掲載可とされていた論文が掲載不可になったことで、収録される論説が2本になってしまった点が報告された。また、査読の判定が一般的に厳しく、第56巻第1号に収録可能な論説が現時点で1本しかないことから、第2号との合併号による発行の可否について議論された。その結果、12月末にまで4本程度のストックがなさそうならば、合併号発行もやむなしとの結論に達した。また、従来比較的簡素だった執筆要領を、校正の手間を省くためにも新しい執筆要領に変更した方が良いとの提案が編集委員会から提示され、若干の修正を経たうえで、永井前編集副委員長が起草した新要領に沿って作業を進めることが了承された。

大橋理事（新編集担当）からは、新体制では副編集長（これを主任編集委員とする）を4名設け、それぞれを各号の実質的な責任者とすることで作業の分担、効率化を図っていきたいとの報告があった。また校正のサポートについては、印刷業者と打ち合わせを行い、どの程度、外部の校正者を利用する必要があるかを確認するべきだとされた。

谷垣理事（前書評担当）からは、第55巻第4号に収録できる書評の数が4本から5本に増えた旨の報告があった。

議案4 財務担当の年度計画案

梶谷理事（財務担当）から、HPのバージョンアップや学会大会開催などの出費について、従来通り厳格に支出したいとの報告があった。また、財務担当理事の変更により、財務事務局を千葉（〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2 アジア経済研究所内）から神戸（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部内）へと移したいとする提案がなされ、協議の上、承認された。

議案5 広報担当の年度計画案

澤田理事（広報担当）から、学会ホームページの英語版のアップデートが止まってしまっているため、できるだけフォローアップしたいとの説明が行われた。また、会員による新刊情報の定期的なアップデートを行うため、書評委員と情報交換を行い、会員の作品をできるだけ網羅的に取り上げられるよう努力したいと報告された。

議案 6 ニュースレター担当の年度計画案

田村理事（前ニュースレター担当）から、第 33 号発行にあたって、まだ 3 名の会員から全国大会参加記が提出されていない旨報告があった。丸川理事（新ニュースレター担当）からは、従来からなされてきた作業を淡々とこなしたいという説明が行われた。

議案 7 国際交流担当の年度計画案

唐理事（国際交流東担当）から、国際シンポジウムの企画を軸に、西日本の国際交流担当である高龍秀理事と連絡をとりあいたいとの説明が行われた。

議案 8 優秀論文賞担当の年度計画案

担当の深川理事が欠席のため、審議は次回に持ち越された。

議案 9 公益法人制度改革担当の年度計画案

田村理事（公益法人制度改革担当）から、来年度には法人化に向けての基本方針を決め、再来年の 2011 年までに公益法人へと移行できるよう努力したいとの報告が行われた。

議案 10 来年度の研究大会とその一部の共催

高原理事長から、5 月 22 日の東日本大会は、北海道大学のスラブ研究所との共催という形態をとりたいとの提案があり、審議の末、承認された。理事会としては、こうした共催を今後とも積極的に行っていくということで合意が得られた。

議案 11 名誉会員選出の件

高原理事長から、本学会の理事長経験者で、今年度に 70 歳になられた渡辺利夫先生を名誉会員に推挙したい旨提案があり、承認された。

議案 12 入退会者の承認

<新入会> 孟哲男 劉仙姫 杉田徹 三輪博樹 本田親史 荻込俊二
范凱云 森康郎 藤森浩樹 陸亦群（再入会）

<退会> なし

<休会希望> なし

<優待申請> なし

議案 13 地域研究学会連絡協議会による「要望書」への対応について

本学会も参加している地域研究学会連絡協議会から、「先日の事業仕分けによる研究費カットに対する声明に学会名で参加してほしい」という要請を受け、協議した結果、その声明に学会名で参加することを承認した。

◆その他

次回理事会は、2010年4月10日（土）15時半から、東京大学東洋文化研究所3階第一会議室にて開催予定。

以 上

高原議長が午後5時20分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成21年12月5日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明生



議事録署名人

園田 茂人



誤字録署名人

松田 康博

